

## 序

目に青葉、山ほととぎす初鰹の季節になりましたが、この頃は余程山奥へでも行かなければほととぎすの声等はきかれません。鰹の方は遠洋漁業のおかげでほとんど年中口に入り、季節感等は失われてしまいました。

かつては豊富といわれたわが国の川砂利、川砂、そして労働力というものも、ほととぎすと同様に今は寡少となりつつあります。

私共の日頃の研究の目標もこの様な時勢の影響をうけずにはられません。当研究所報第9号からもこの流れを感じとっていただけたと思います。

建設は日々により深く掘り、より高く築くように進みつつあります。われわれも日頃の研究を通して、超高層建物や深層構築物がさらに健全に、さらに経済的に建設される様に努力して参るつもりです。皆様の御鞭達を期待いたします。

1967年5月 記

清水建設研究所 所長

大 築 志 夫